

「社会に開かれた教育課程の実現に向けて」

青森県総合学校教育センターとの連携講座

青森県総合学校教育センターと連携し、「教頭研修講座（5/9）」と「今ある教育活動を活かすキャリア教育研修講座（6/11）」を実施しました。各講座の一部に「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたプログラムを設け、目前に迫った新学習指導要領の実施に備えるためです。

「教頭研修講座」では、モデル校の資料を参考に「教頭として」だけではなく、校長・保護者・地域住民・行政職員・NPO等の団体・企業等などの立場を役割分担し、それぞれの立場から様々な意見と多様な視点で意見を交わす演習を行いました。

受講者からは、「いろいろなアイデアや考えに『学校と地域が連携・協働し**目標を共有**する』ことの具体的なイメージを持つことができました。」などの感想をいただきました。

また、「今ある教育活動を活かすキャリア教育研修講座」では、既存の活動から、キャリア教育につながる体験活動を考え、学校と地域が「**共有する目的**」を明確化することで、両者の連携・協働について考える演習を行いました。

受講者からは、「演習を通じて、キャリア教育の本質に近づけたような気がしました。」などの感想をいただきました。

今後も「社会に開かれた教育課程」について理解を深めていただけるよう研修の機会を提供してまいります。【演習の様子】



教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座を開催します！！

日時：11月19日（火）～20日（水） 場所：県総合社会教育センター
内容：「目的を共有するって？」を考える講座です。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/platform-list.html> をご覧ください。

問い合わせ先 教育活動支援課 TEL 017-739-1270

北海道・北東北4道県 生涯学習センター等研修交流会

去る7月25、26日の2日間、秋田県生涯学習センターにおいて「北海道・北東北4道県生涯学習センター等研修交流会」があり、当センターからも出席しました。その様子を御紹介します。

この研修交流会は、昨年度、第1回を本県で開催しました。北海道と秋田県、岩手県、青森県の生涯学習に関わる施設の職員同士の情報交換や職員の資質向上を図ることを目的に、各道県の持ち回りで開催することになっています。（今回は、オブザーバーとして山形県生涯学習センターも参加しました。）

初日は、まず、各センターからの提案による協議題について、情報交換を行いました。施設運営の状況、地域との連携、家庭教育支援への取組など、各所の様子が紹介されました。各道県で与えられた役割の違いも確認しつつ、各センターの今後の取組の方向性を考えるきっかけを得ることができました。

その後、2日間にわたり、話し合いの手法「熟議」を体験しました。参加者全員がお互いに理解と共感をし、チームとしての目標等を練っていくための手法であり、特に、地域と学校との連携を推進する上で活用できることが提案されました。

議題や参加者を変えると、様々な場面で活用できる可能性の広い手法だと感じました。

また、秋田県の「オーダーメイド型社会教育主事派遣事業」の紹介もありました。市町村の要望に応じて、秋田県生涯学習センターの社会教育主事が出向き、支援する取組です。活用しようとする市町村が増加傾向にあるとのことでした。

最後に、来年度に協議すべき内容や今後の方向性を話し合い、今後もさらに交流を深めることを確認し、次年度開催の岩手県での再会を約束して終了しました。

参加4道県は、昨年度から、お互いの事業や取組等を参考にしたり、講師についての情報交換したりするなど、交流の成果を活用しています。今回の研修交流会で得た情報も、今後、当センターの事業等へ積極的に活用していきたいと考えています。



「熟議」の様子